全国学校給食週間

１月 24日(月)～30日(日)は、全国学校給食週間です。日本で最初に学校給食が始まったのは、明治22年山形県鶴岡市です。お弁当を持ってこられない子ども達のためにおにぎりと塩鮭、漬物を出したのが給食の始まりだとされています。そして第二次世界大戦がおき、日本中で食べ物がなくなり給食が出来なくなりました。

戦争が終わってユニセフなどから子どもたちの給食にと、小麦粉と脱脂粉乳が送られ、12月 24日に学校給食が再開されました。この日は多くの地域が冬休みで給食がないので、１ヵ月後の１月24日からの１週間を給食記念週間としました。

～家族でそれぞれの学校給食の思い出を語り合いましょう～

脱脂粉乳・味噌汁

昭和20年代

宇美小学校では、昭和24年に脱脂粉乳給食がはじまりました。それまで子ども達のほとんどが乳製品を口にした事がなかったため脱脂粉乳は、受入れてもらえませんでしたが、乳製品を摂取したことにより身長が伸びるなど、体位向上がみられました。現在では、スキムミルクといわれ高蛋白低脂肪の健康飲料として捉えられています。

黄粉揚げパン・おでん・脱脂粉乳

昭和30年代

まだこの頃は、ご飯でなく、主食はほとんどコッペパンでした。エネルギーを安い穀類でとるため、今より小麦粉の量が多く、大きなパンがでていました。この頃に学校給食不動の人気メニュー揚げパンが開発されました。

※揚げパンの作り方

コッペパンを新鮮な油で素揚げし、砂糖・黄粉・塩をあわせておいたものにからませる。

手巻き寿司・ピーナッツのすり流し汁・牛乳等

昭和50年代～平成

昭和50年後半から米飯給食が始まりました。それにより、主食のご飯にあった献立が工夫されるようになりました。現在では季節の行事にちなんだもの、日本各地の郷土料理、世界の料理等、いろいろな献立があります。

また、地場産物を積極的に取り入れ宇美町に伝わる伝統料理も給食に取り入れています。

今どきの学校給食人気メニュー

あっという間にできる!!
化学調味料なし！手作りふりかけ！

手作りのり玉を紹介します。

（材料）

・卵	２個	・焼きのり	１枚
・酒	大さじ２	・鰹節	５ｇ
・みりん	大さじ２	・醤油	少々
・砂糖	少々	・ちりめん	大さじ１
・いりごま	大さじ１		

（作り方）

①フライパンで鰹節を乾煎りし、取り出す。
②フライパンに卵、酒、みりん、砂糖を入れよくかきまぜ卵そぼろを作る。
③②にいりごま、細かくした焼きのり、鰹節、ちりめんを入れ混ぜる。

すくすく便り
～宇美町立こども療育センターすくすく～

すくすくってどんなところ？

すくすくでは、発達につまずきのある乳幼児とその保護者を対象に、療育（個別・集団）訓練を行います。療育訓練では、こども達の心身の発達をうながし、社会生活、集団生活などへの適応能力の向上などを図ります。

療育のめあて…遊びや日々の生活行動を通じて発達をうながします。

○集団活動を通して、対人面やルール等の社会性の向上を図ります。
○身体を動かすことにより、体力の増進やバランス感覚等を養い、運動能力を高めます。
○物を使う遊び等を通して、目と手の協応を図り、認知面を高めます。
○身ぶりやお話、読み聞かせ等によりコミュニケーションの土台を作り、言語面の発達を促します。
○食事、衣服の着脱、排泄等の基本的な生活習慣を身につけます。

今回は、「すくすく」で実施している３事業の１つである、「集団療育」に通われている保護者の方に、通ってみての感想やこどもへの思いについて書いていただきました。

他の子に比べて恥ずかしがったり、落ち着きがない事を不安に思い、健診時に相談したことが「すくすく」に通うきっかけになりました。

今は、園生活も落ち着いて送れるようになり、私自身も親じゃ気づけない、こどもの苦手な事を先生方から教えてもらい、しっかり向き合える様になりました。少しでもこどもの発達に気になることがある時は、一人で悩まず相談することをおすすめします。（ニコニコママ）

我が家の息子は今４歳。ダウン症、重い心臓病で生まれてきました。育児に悩み誰にも相談できない不安を抱えていた２年前に「すくすく」を訪ねました。そこには、障害や病気をもったこども達とお母さん達が笑顔でいました。皆、いきいきしていてすごく優しい場所だった事を鮮明に覚えています。

息子も毎週楽しく通い、私にも笑いながら涙しながら相談できる「友」ができました。この子達がこれからどんな成長をしていくのかすごく楽しみです。（ひよこママ）

生後４ヶ月の頃、発達に遅れがあると診断され２歳頃より「すくすく」に通い始めました。できる事が少しずつ増えていくのを先生方や他のお母さんと共感でき、違う目線から見てもらえるので、気づかされる事も多いです。

何より、親子一緒なので安心して通っています。ここでしか出来ない色々な遊びや季節ごとの体験を積む事で次の年は出来る様になっている発見があり、楽しい時間を過ごしています。（うさママ）

集団療育の様子

【問い合わせ】
宇美町立子ども療育センター「すくすく」
TEL９３４－３９３３（受付：月～土曜日の９時～17時）

宇美俳句同好会「山ざくら」
兼題　著ぶくれ・白菜

著ぶくれてバスを待たせて銭探す　磯雄
著膨れの夫の姿や義父に似る　正子
著ぶくれて犬に引かれる下り坂　しずこ
著ぶくれて小廻りきかぬ老を知り　よし子
囲みたる白菜鍋の甘き湯気　ハルミ
著ぶくれし八十路の友のクラス会　三和子
白菜の芯の黄色や意外にも　富美恵
一株の白菜重く持て余し　チトセ
著ぶくれて老人会の歌をさめ　清見

宇美俳句会
兼題　息白し・十二月

山々の形糺しゐる十二月　土筆
警官のマスク滋れて息白し　恵
息白く檄をとばしてゐる部活　利子
庭師来て遅きを謝せる十二月　智暁
送り出す母の白息やはらかし　元英
息白く駆け来て無罪告げにけり　磯雄
はからずも嘉辰の知らせ十二月　榮子
十二月彗星見むとしばし外に　宗毅
それなりの覚悟で臨む十二月　としえ
お早うの声のはじけて息白し　清見

宇美川柳会

失言はもう呑み込めぬと腹を決め　きみ絵
歳重ね迷った道は数知れず　徳代
どの道と迷いながらも今がある　節子
失言をギャグでごまかす歳になる　ヒサ子
褒め言葉言ったつもりがあ失言　萌子
本音です言い間違えたふりをする　みのる

短歌

千有余齢（よわい）を保ちし大楠の
注連縄（しめなわ）古りつも初日をかへす　宮内澄江